

鳴門教育大学附属図書館概要

Naruto University of Education Library

2001

目 次 contents

沿革 chronicle	1
特色・組織・機構 characteristics and organization	2
建物概要 outline of building	3
サービス service	4
図書館情報システム library information system	6
データベースとデジタル・コンテンツ databases and digital contents	7
館内案内図 floor guide	8
文庫・コレクション collections	10
児童図書室 children's library	12
統計 statistics	14
ホームページ紹介 web site	16
規則・規程 rules	17



昭和 56 年 10 月	鳴門教育大学設置（開学）
59 年 4 月	人文棟内に附属図書館設置（開設），総務課図書係をおく ブックディテクション装置を設置 附属図書館業務電算化（第 期）（貸出・返却業務） 丸善㈱製 マルゼンマイクロメイト・MAIL-L
60 年 4 月	総務課図書係を図書課整理係・閲覧係に改組
61 年 4 月	図書課整理係・閲覧係を教務部図書課管理係・整理係・閲覧係に改組
7 月	附属図書館新館着工
62 年 3 月	附属図書館新館竣工
4 月	附属図書館業務システムリブレース（第 期）（貸出・返却業務） 丸善㈱製 ACADEMIA SYSTEM-1 附属図書館新館でのサービス開始
5 月	附属図書館児童図書室開室
平成 2 年 2 月	学術情報センターと接続，NACISIS-CAT開始
4 月	附属図書館業務システムリブレース（第 期）（閲覧全般，図書・雑誌受入・目録作成業務 及び学術情報センターとの接続による学術情報システムネットワークへの参画） 日本電気㈱製 LICIS/U 遡及入力開始
4 年 3 月	遡及入力完了
4 月	NACISIS-I LL開始
5 月	土曜開館開始
5 年 4 月	整理係を目録情報係に，閲覧係を情報サービス係に名称変更
10 月	野地潤家文庫閲覧開始
6 年 7 月	野地潤家文庫（第 1 期分）整理完了
8 年 2 月	附属図書館業務システムリブレース（第 期） 日本電子計算㈱製 LINUS/U
6 月	附属図書館ホームページ開設
8 月	大村はま文庫整理開始・閲覧開始
9 年 10 月	「教科教育実践学関係資料（国語科）データベース」検索システムをホームページで公開
11 年 3 月	CD-ROMサーバ導入
4 月	CD-ROMネットワークサービス開始（ERIC，雑誌記事索引） コイン式複写機設置 電子ジャーナルの提供（IDEAL，IOP，SD21）
12 年 2 月	附属図書館業務システムリブレース（第 期） 日本電子計算㈱製 LINUS-NC
3 月	視聴覚室機器更新 1 階固定書架増連，閲覧座席削減
4 月	日曜・祝日開館開始
5 月	「教育情報処理」授業の 2 コマ担当
10 月	WEB サービス（貸出予約，貸出状況確認，I LL 申込）の開始
13 年 3 月	電動集密書架の修理 2 階固定書架増連，閲覧座席削減 放送大学受信装置の設置，無線 LAN 設備設置，閲覧室電源増設

注) は，図書館電算機システムのソフトウェア名

特色・組織・機構 characteristics and organization

特色 characteristics

鳴門教育大学附属図書館では、「開かれた大学」の建学の精神に則り、その実践に努力しております。当館の特色は次のとおりです。

資料の全面開架：従来の書庫をなくし、利用者がほとんどの資料を面倒な手続きを経ずに、直接目で見て触れることができます。

資料の集中管理：資料を学内共同利用することにより、重複をなくし予算を有効に使うシステムです。

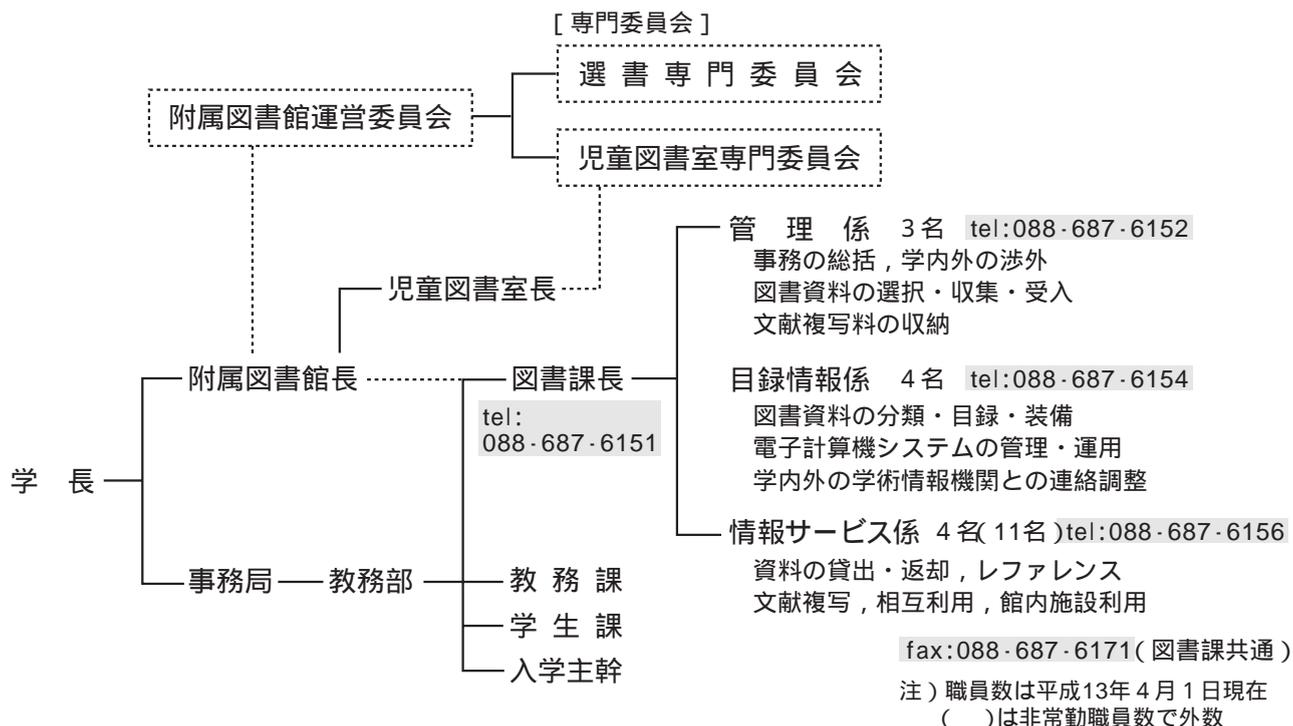
児童図書室：国立大学唯一の児童図書館で、地域の子もたちの文化的な場となり、本学の学生・院生が実際に子どもたちと接することができる場でもあります。

一般公開：生涯学習の時代に則り、一般市民にも広く公開しています。

歴代館長 director

事務取扱	前田嘉明	学長	昭和56年10月1日～昭和59年4月10日
初代	松本淳治	教授	昭和59年4月10日～昭和62年3月31日
第2代	小池洋一	教授	昭和62年4月1日～平成元年3月31日
第3代	吉田嘉高	教授	平成元年4月1日～平成3年3月31日
第4代	山下伸典	教授	平成3年4月1日～平成5年3月31日
第5代	西睦夫	教授	平成5年4月1日～平成7年3月31日
第6代	橋本暢夫	教授	平成7年4月1日～平成9年3月31日
第7代	佐々木保行	教授	平成9年4月1日～平成10年4月15日
第8代	村田博	教授	平成10年4月16日～平成12年4月15日
第9代	橋本泰幸	教授	平成12年4月16日～

組織・機構 organization



構造 structure

鉄筋コンクリート造 2階建

面積 area

	1階	2階	3階	合計
利用関係	924	931	0	1,855
管理関係	378	162	102	642
集密書架	110	110	0	220
その他	219	194	8	421
合計	1,631	1,397	110	3,138

注) 単位は㎡

主要設備と床面積等 facilities and area

	室名	面積㎡	座席数	備考
1階	エントランスホール	68		
	新聞閲覧コーナー	46	20	
	カウンターまわり	40		
	館長室	41		
	事務室	204		
	職員研修室	33		
	情報処理室	21		
	児童図書室	83	6	
	開架閲覧室	570	60	検索コーナー 12席含む
	視聴覚室	47	7	マイクロコーナー 1席含む
	研究個室	34	8	
	雑誌閲覧コーナー	51	12	
	集密書架	110		
2階	開架閲覧室	610	105	検索コーナー 1席含む
	文庫	186	15	野地潤家文庫 8席, 大村はま文庫 7席
	特別資料室	47	6	
	セミナー室	32	10	
	研究個室	17	4	
	会議室	51	20	
	大型本コーナー	71	20	
	集密書架	110		

サービス service

開館時間 library hours

	通常期 semester	休業期 school vacations
平日 monday to friday	9:00 ~ 20:00	9:00 ~ 17:00
土・日曜日，祝日 saturday, sunday & national holidays	10:30 ~ 17:00	休館

休館日 closed

休業期間中の土曜日，日曜日，国民の祝日に関する法律に定める休日
本学の創立記念日（10月1日）
年末年始（12月27日から翌年1月5日まで）

貸出 circulation

一般貸出 general circulation

区 分	図書・製本雑誌 books, bound periodicals			未製本雑誌 unbound periodicals	
	冊数 limits	期 間 loan periods		冊数 limits	期 間 loan periods
		図 書 books	製本雑誌 bound periodicals		
教員・大学院生 faculty, graduate	10冊	1ヶ月	3日	3冊	次の開館日の 12時まで
学部生・事務職員 undergraduate, staff	5冊	2週間	3日	3冊	
学 外 者 visitors	5冊	2週間	-	-	

特別貸出（研究室貸出）special circulation for faculty

	貸出冊数 limits	貸出期間 loan period
教 員 faculty	300冊	1年

利用者教育 user education

新入生ガイダンス（4月）学部学生・大学院生対象。OPAC説明も含む。
留学生ガイダンス（4月～5月）
CD-ROM検索説明会（5月）
授業「教育情報処理」（5月～6月）
（学部1年生を対象とした授業の中の2コマを担当）
その他，電子ジャーナル利用説明会等

各種サービス services

コピーサービス (館内資料の複写) photocopy service	コイン式複写機, カウンター内複写機, リーダープリンター
レファレンス reference	館内資料や施設の利用方法 資料の書誌・所蔵・所在に関する調査 事実や特定の事項に関する調査 文献検索
オンライン情報検索サービス (代行検索) information retrieval	NACSIS-IR (国立情報学研究所) JOIS (科学技術振興事業団) DIALOG
相互利用サービス interlibrary cooperation	学外機関への文献複写, 現物貸借の依頼, 受付, 他大学への紹介状などの発行
WEB サービス WEB service	WEB 上で ILL の申込, 貸出状況の確認, 貸出予約ができるサービス

施設 facilities

視聴覚室 audio-visual room	CD, レコード, カセット, ビデオ, LD, VHD, DVD, マイクロフィルム, マイクロフィッシュ, 放送大学 (テレビ, ラジオ)
研究個室 study room	主として大学院生を対象とした, 研究用個室
セミナー室 seminar room	少人数のグループ学習に使用
特別資料室 special collections room	文庫・コレクションのうち, 特に貴重なものを保管・展示

IT 環境 access to information

OPAC 専用端末 2 台
 情報処理センター端末 2 台
 (メール, ワープロの使用可能)
 その他パソコン 10 台を設置し, インターネット検索, CD-ROM 検索等に使用。
 上記以外に, 個人のパソコンを持ち込んで 無線 LAN, DHCP によるネットワーク接続が可能。



図書館情報システム library information system

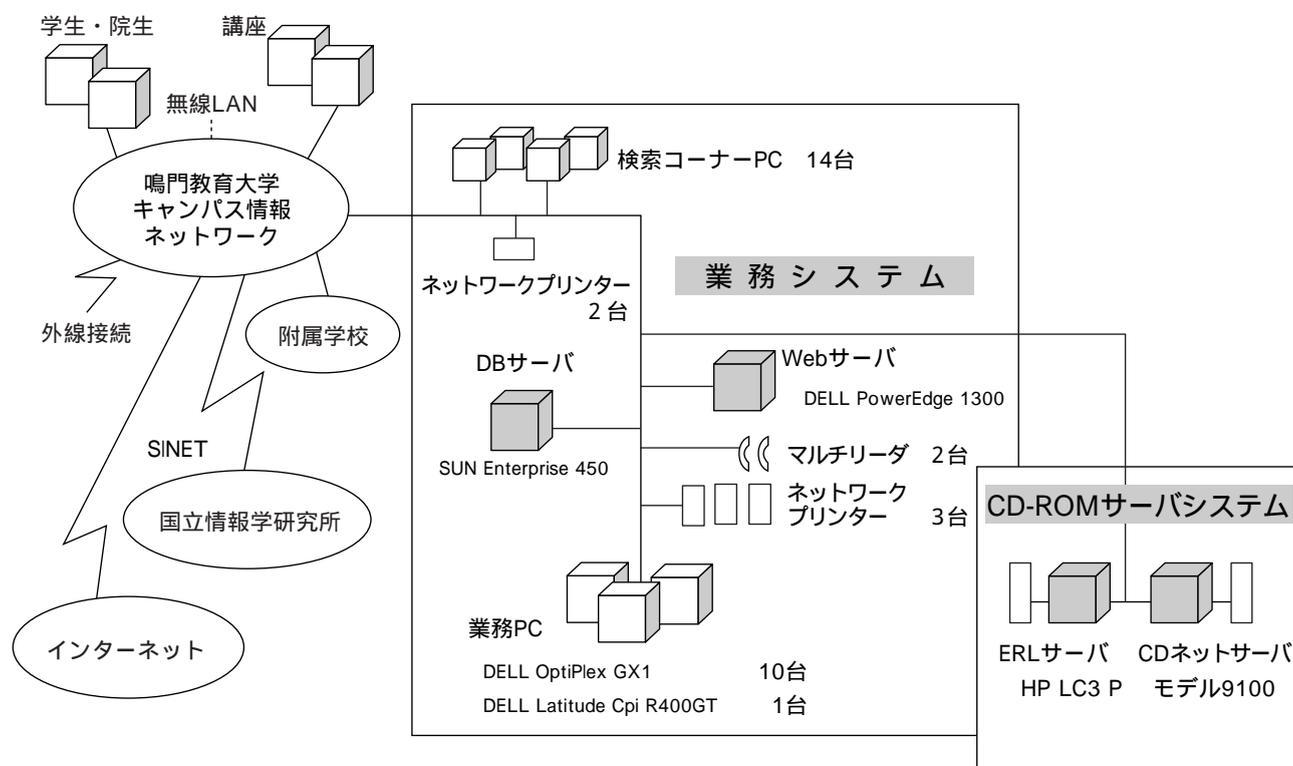
図書館業務の電算化は、昭和59年4月、附属図書館開館当初の貸出・返却に始まり、昭和62年、平成2年、同8年、同12年と、以降4回のシステム更新で機能の追加・拡張を行ってきました。現在、資料の受入、目録作成、OPAC、国立情報学研究所との業務接続等、図書館業務全般を電算処理しています。

第期の現システムは日本電子計算(株)製LINUS/NCを採用し、クライアント・サーバ方式のオープンシステムで、サーバOSはUNIX、およびWindowsNT、DBソフトはOracleです。このシステムで、新CATによる目録データベース作成、新ILLによる相互協力システム、教官、院生、学生のWebからの文献複写依頼や貸出確認、貸出予約などの機能やサービスが実現しました。

また、文献検索システムとして、平成11年3月にCD-ROMサーバシステムを導入し、ERIC、雑誌記事索引を中心に9種類のCD-ROMを学内提供しています。

学内では、情報処理教育の実施や学生のノートパソコン所有の推奨、平成12年度末の超高速ネットワーク導入など、学内の基盤・環境整備が進んでおり、図書館はネットワークサービスのいっそうの充実を図り、利用者サービス指向を強めた図書館情報システムを目指します。

機器構成図

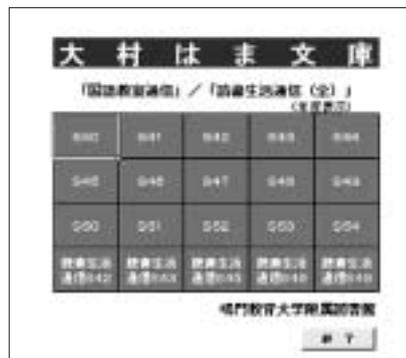


データベース databases

- 鳴門教育大学附属図書館蔵書目録 (OPAC)
所蔵する資料約 27 万冊 (平成 13 年 5 月現在) のデータベース。
- 鳴門教育大学研究紀要目次一覧
本学紀要 12 誌に掲載されている論文の目次を収録。
- 鳴門教育大学大学院修士論文題目一覧
修士論文のタイトル, 修士名等のデータを修了年度別に収録。
- 教科教育実践学関係資料 (国語科) データベース
「野地潤家文庫」, 「大村はま文庫」の目録データに特殊分類及び件名を付与したデータベース。
国語教育を中心に, 広く教育学資料, 実践記録を含む。
- 子どもの心を理解するための絵本データベース (鳴門教育大学附属図書館児童図書室)
子どもたちの心に深い影響を与えてきた絵本 2100 点を 280 の主題により分析したデータベース。
目録データのほか, 主題, 主人公の性別や年齢, 簡単なあらすじも収録している。

電子化資料 digital contents

- 大村はま文庫「国語教育通信」「読書生活通信」データベース
大村はま氏が国語授業の中で発行した 2 種の通信を画像化している。
- 楽譜「リヒャルト・ワーグナー：ニーベルンクの指環」
当館所蔵のワーグナーの初版本楽譜「ニーベルンクの指環」を画像化している。



CD-ROM(ネットワーク)

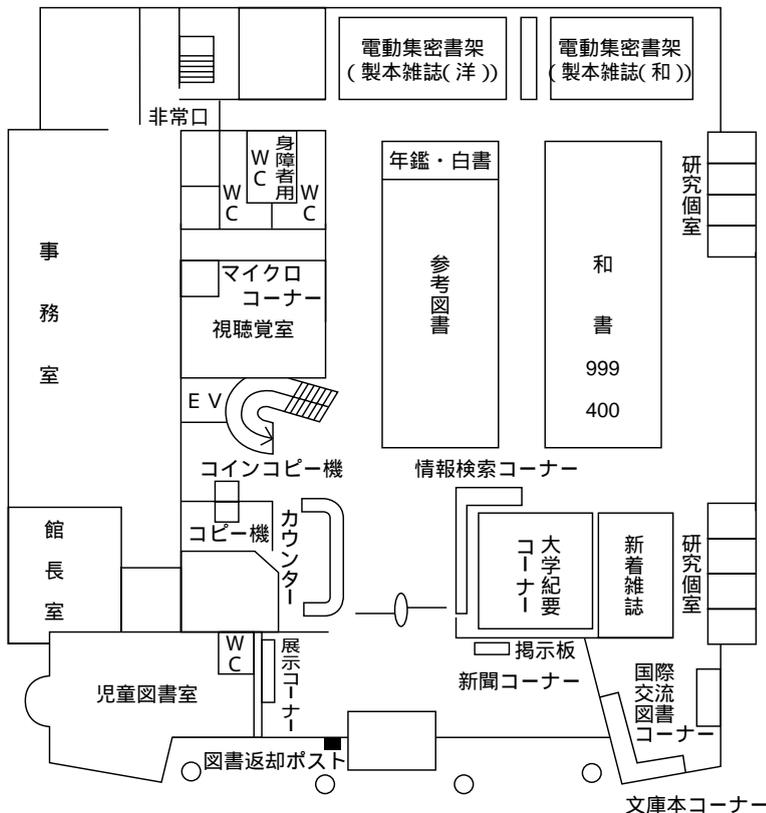
CD-ROM via network

ERIC
雑誌記事索引
世界大百科事典
AIKEN Ver.3 / Ver.6
日本総合愛育研究所紀要
大宅壮一文庫雑誌索引
研究者・研究課題総覧 96
教育学論説資料索引・英語学論説資料索引
教育統計データ

CD-ROM(スタンドアロン) standalone CD-ROM

朝日新聞戦後見出しデータベース 1945 - 1999
CD - HIASK 2000 ~
CD - 毎日新聞 95 ~
Encyclopedia Americana
風俗画報
学校教員統計データ
学校基本統計データ
国定読本用語総覧
長恨歌画卷
テレビ放送の語彙調査 [語彙表]
新編国歌大観

1 F



情報検索コーナー

OPAC専用端末1台，情報処理センター端末2台，パソコン9台設置。

文庫本コーナー

文庫本，放送大学教材を配架。

国際交流図書コーナー

留学生のための言語関係資料等を配架。

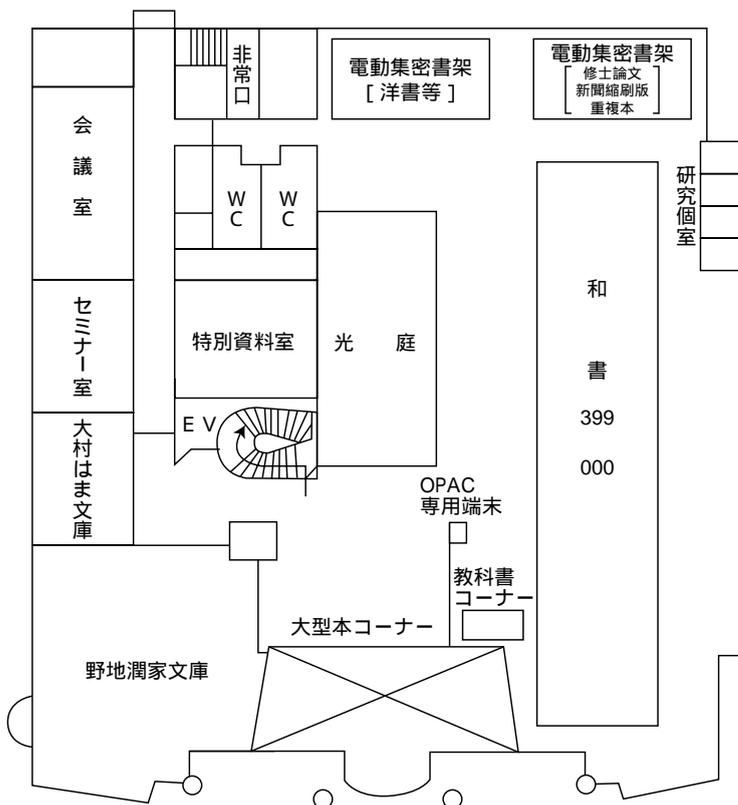
2 F

大型本コーナー

美術書，楽譜，地図など，大型本を配架。

教科書コーナー

現行の教科書を配架。





情報検索コーナー / 1 F
図書館の中で一番活気がある場所。



大型本コーナー / 2 F
玄関からの吹き抜けがあり、
ここで休憩している学生も。



閲覧室 / 2 F
景色のいい窓際で、
ゆったり勉強できる。



研究個室 / 2 F
一人で研究に没頭でき、
大学院生に人気。

文庫・コレクション collections

文庫 special collections

野地潤家文庫 NOJI Junya Collection

野地潤家前学長の寄贈文庫で、明治以降の日本の国語教育学文献を網羅的に収集している。

第1期分として整理の完了した資料は、綴り方、作文、話し方、児童文学研究、松尾芭蕉を主とした俳句関係の図書を中心に10,630冊あり、なかには江戸時代や明治初期に刊行された貴重な書物も含まれる。

第2期分には「読むことの教育」、教育学、心理学、学校図書館関係を中心とした図書、教科書が約3万冊あり、現在は教科書を整理中である。

平成12年度末の整理済み冊数は総計24,890冊となった。

大村はま文庫 OMURA Hama Collection

中等国語教育の実践・研究者で生徒の「個」を生かす0授業を展開したことで知られている大村はま氏の寄贈文庫である。

学習の記録1,969冊、単元学習資料約500点、教育実践・研究関係の文献6,648冊で構成され、教科教育実践学研究的の貴重な資料となっている。



野地潤家文庫



大村はま文庫



文庫入口付近

大型コレクション

The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology allotment large collections

後藤家文書 Ancestral Manuscripts of GOTO Family

旧阿波国名東郡早瀬村組で代々組頭庄屋を勤めた後藤家が所蔵していた古文書で、支配、年貢、諸役、用水、土地、社会・身分関係文書一式で構成されており、旧藩時代の貴重な古文書である。

楽譜「リヒャルト・ワーグナー：ニーベルンクの指環」

Score: " *Der Ring des Nibelungen* " by Richard Wagner

19世紀ロマン派の大作曲家リヒャルト・ワーグナー（1813 - 1883）がおよそ25年の歳月をかけて完成させ、全曲上演には14時間余りを要する四部作楽劇の極めて稀な全曲総譜、初版本である。

作品は「ラインの黄金」「ワルキューレ」「ジークフリート」「神々の黄昏」の4部から成る。

総合イギリス・アメリカ名著復刻叢書 *Anglistica & Americana*

16世紀から20世紀前半に出版された英米文学・言語学を中心に哲学、宗教、社会、科学、芸術等各分野の名著、稀覯本を復刻したもので全172点470冊で構成されている。いずれも原本では入手困難な文献で、当版当時の最高学識を集大成したものばかりである。



後藤家文書

楽譜「リヒャルト・ワーグナー
：ニーベルンクの指環」その他のコレクション *other collections*米国学位論文「ピアジェ思想研究」 *Dissertations about Piaget and his Theory*

ピアジェの理論や研究を発展、あるいは批判した未公開の学位論文集。

1955年から1983年までに出されたもので、教育学、心理学、哲学の領域全般にわたる。全482点。

ヨーロッパ教育思想史コレクション *Collection on Educational Thoughts in Europe*

過去400年にわたるヨーロッパの代表的な教育思想に関する著作（初版本が中心）、教育思想家及びその著作に関する研究書等、合計485点で構成されている。とりわけペスタロッチ関係文献は57点と充実している。

物語文学書集成 静嘉堂文庫所蔵 *Microfilm Documents of Japanese Literary Works*

物語文学書及びその関連資料 938点 マイクロフィルム 318リール

歌学資料集成 静嘉堂文庫所蔵 *Microfilm Documents of Japanese Classic Poetry*

和歌及び連歌俳諧、狂歌川柳の古典籍 1,133点 マイクロフィルム 252リール

物語文学総瞰 大東急記念文庫所蔵 *Microfilm Documents of Japanese Representative Classics*

中古・中世文学史上の代表的古典を古写・古版の稀覯書で集成 95点

マイクロフィルム 80リール

児童図書室 children's library

国立大学で唯一の児童図書室です。

本学関係者のみならず地域住民にも広く開放され、種々のサービスを提供しています。

また、将来教員になろうとする学部生、現職教員である大学院生のための実践的な教育・研究の場にもなっています。

開室日・開室時間 library hours

水曜日，土曜日，日曜日および祝日

13:00～16:00

本館の休館日は休室します。

平成12年度開室日数 128日

<内訳>水曜日 47日

土・日曜日，祝日 81日

利用条件 policies

利用資格の制限はありません。

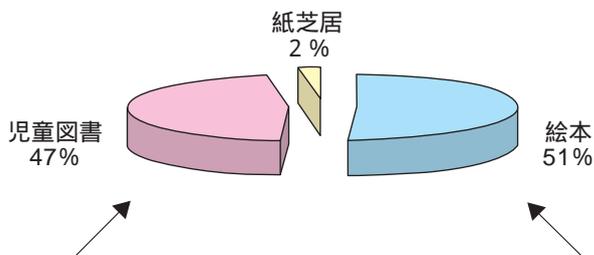
貸出冊数	貸出期間
5冊	2週間



蔵書 book stock

日本や外国の優れた絵本や児童図書を幅広く揃えています。

種類別蔵書割合



蔵書数は平成13年1月に1万冊を越えました。

平成12年度末現在 10,047冊

<内訳>絵本 5,111冊

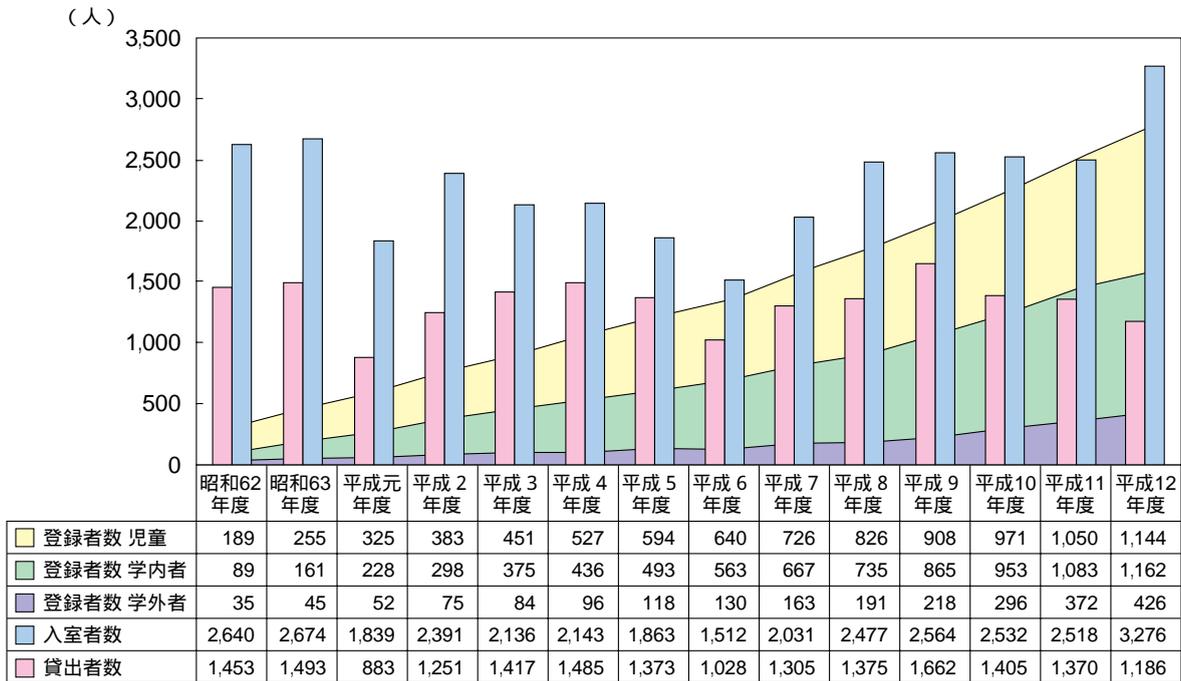
児童図書 4,715冊

紙芝居 221冊

児童文学（幼年～ヤングアダルト），個人全集，世界昔話，名作，古典，伝記，ノンフィクション，工作，折り紙，図鑑，手塚治虫漫画全集，コバルト文庫など。

赤ちゃん絵本，日本の絵本，外国の絵本，美術・音楽の絵本，戦争の絵本，自然・科学・環境の絵本，しかけ絵本，洋書絵本，文庫版「サザエさん」など。

利用状況 number of users



登録者数は開室時からの累計

活動状況 activities

主な活動内容	実施回数等
絵本・紙芝居の読み聞かせ	土曜日 14:00 ~
地域ボランティアによるストーリーリングの会	年4回
人形劇団ころぼっくる（鳴門教育大学課外活動認定団体）による人形劇	年2回
たなばたのお話会	6月下旬～7月上旬頃
クリスマス会	12月中旬頃
「徳島お話を語る会」による学生のためのストーリーリング講習会	年1回
学生宿舍子ども会のための児童図書室利用説明とお話の会	年1回



日常的な活動は、専任非常勤職員1名と本学学生ボランティアを中心に展開されています。



学生ボランティアによる紙芝居ある年のクリスマス会にて...

開学 20 周年にあたり、これまでの図書館の動向について、統計的な面から概観することを目的として、この統計を作成した。

なお、統計の数値は各年とも 3 月 31 日現在のものである。

蔵書数と年間受入数の推移 transition of book stock and annual accessions

図 書 books



雑 誌 journals

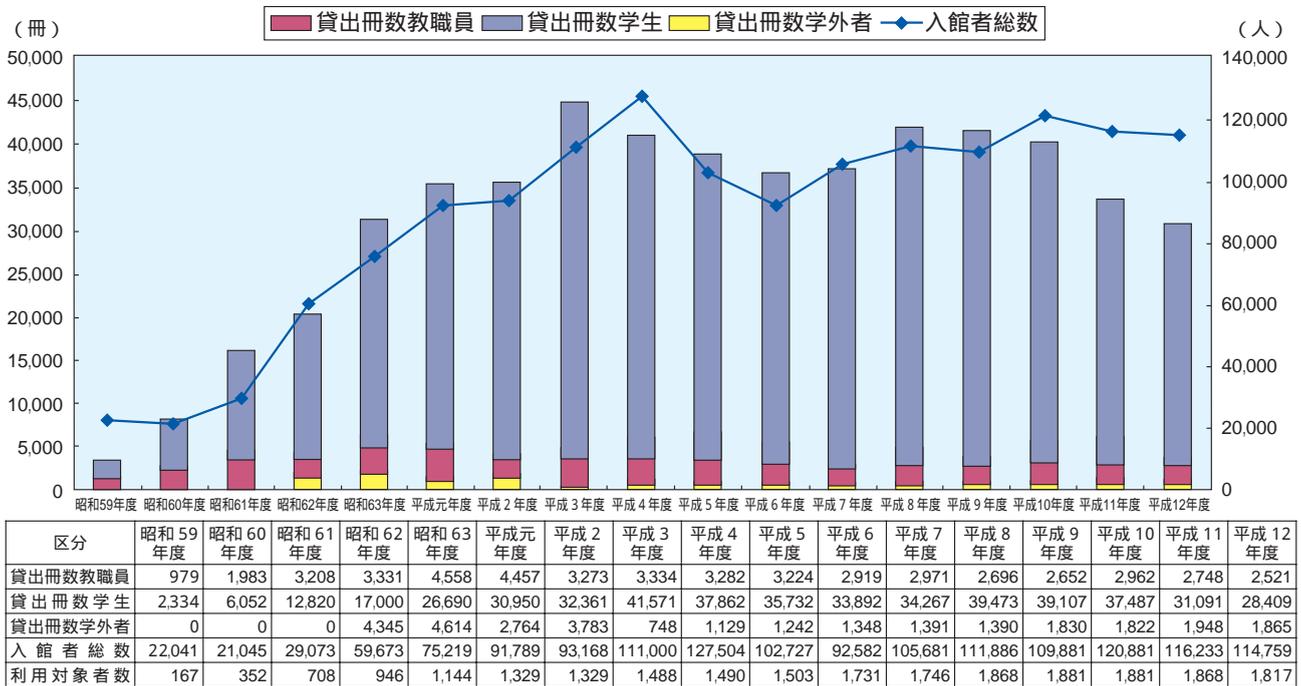


蔵書数について

蔵書数については、和図書・和雑誌の伸びが洋図書・洋雑誌に比べて著しい。

年間の受入冊数は、平成 4 年度に文部省からの「学科新設図書整備費」が終了したため、平成 5 年度以降は除々に減る傾向にある。それにもかかわらず、平成 8 ~ 9 年度に一時的に和図書の受入が増えているのは、野地潤家文庫と大村はま文庫の受入をしたためである。

図書館利用状況 circulation and number of users

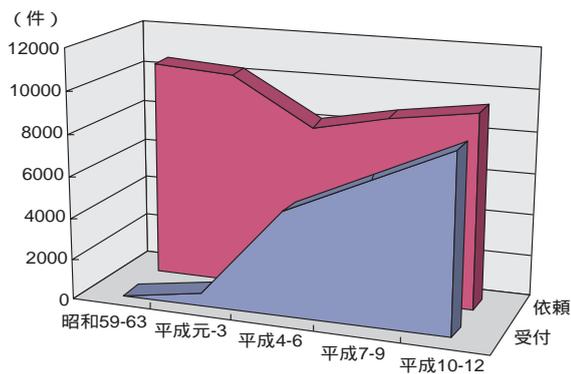


利用状況について

図書館利用状況を見ると、平成11年度から貸出冊数が減少傾向にあるが、この年からコイン式コピーを導入したため、館内でのコピーが増え、貸出が減ったものと思われる。

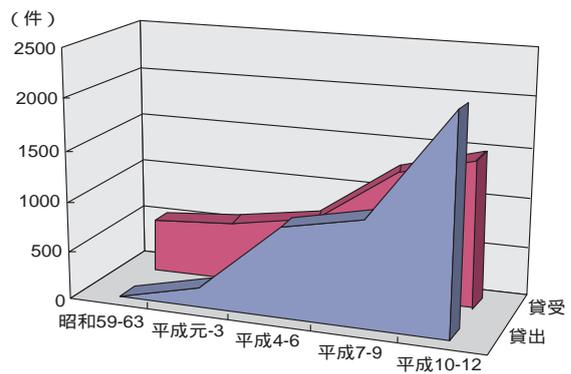
相互協力 interlibrary cooperation

文献複写業務 photocopy service



	昭和59-63	平成元-3	平成4-6	平成7-9	平成10-12
受付	23	645	4,930	6,731	8,583
依頼	10,482	10,216	8,013	8,786	9,370

現物貸借 interlibrary loan



	昭和59-63	平成元-3	平成4-6	平成7-9	平成10-12
貸出	1	191	888	1,048	2,123
貸受	539	597	725	1,271	1,480

相互協力について

複写業務では、当初は依頼ばかりであったのが、受付が急速に増えており、図書館の資料が充実してきたことがわかる。また、依頼件数が一時減ったものの、NACSIS-ILLを開始した後、増加に転じている。現物貸借では、貸出・貸受とも件数が増加しているが、現在では、貸出の方が多くなっており、特に図書のコレクションが充実してきたことがわかる。

ホームページ紹介 [web site](http://www.lib.naruto-u.ac.jp/)

平成 8 年 6 月に図書館ホームページを開設しました。サービスや情報量の増加に応じて内容を更新してきましたが、図書館報を発行していない当館としては、ホームページの充実により利用者サービスを強化し、学内外に情報を発信する必要があるとして、平成 13 年 9 月第 期ホームページを立ち上げました。

<http://www.lib.naruto-u.ac.jp/>



トップページ

児童図書室



蔵書検索



各種申込書



コレクション紹介



開館カレンダー



鳴門教育大学附属図書館規則

〔昭和59年4月1日〕
規則第10号

(趣旨)

第1条 この規則は、鳴門教育大学学則(昭和59年学則第1号)第8条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館(以下「附属図書館」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 附属図書館は、鳴門教育大学(以下「本学」という。)における教育及び研究活動に資するため、図書、雑誌その他の図書館資料を収集し、整理し、及び保存・管理して、本学の教職員及び学生の利用に供することを目的とする。

(管理運営)

第3条 附属図書館長は、附属図書館の管理運営を統括する。

(児童図書室)

第4条 附属図書館内に児童図書室を置く。

2 児童図書室の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

(附属図書館運営委員会)

第5条 附属図書館の運営に関する重要事項を審議するため、附属図書館運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(利用資格)

第6条 附属図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる者とする。

本学の教職員及び学生(研究生、聴講生、特別研究学生及び特別聴講学生を含む。)

本学の名誉教授

その他附属図書館長が適当と認める者

(規則の遵守等)

第7条 利用者は、この規則及び別に定める利用規程に従わなければならない。

2 附属図書館長は、前項の規定に違反した者に対しては、附属図書館の利用を停止し、又は禁止することができる。

(細則)

第8条 この規則に定めるもののほか、附属図書館の利用に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附則

この規則は、昭和59年4月12日から施行する。

附則

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

鳴門教育大学附属図書館利用規程

〔昭和62年4月1日〕
規程第14号

(趣旨)

第1条 この規程は、鳴門教育大学附属図書館規則(昭和59年規則第10号)第8条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館(以下「附属図書館」という。)の利用に関し必要な事項を定める。

(休館日)

第2条 附属図書館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

鳴門教育大学学則(昭和59年学則第1号)第20条第1項第4号、第5号、第6号及び第7号に規定する休業期間中の土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「祝日」という。)

鳴門教育大学(以下「本学」という。)の創立記念日
12月27日から翌年1月5日まで

2 附属図書館長(以下「館長」という。)は、必要と認めるときは、前項の休館日を臨時に変更し、又は臨時に休館とすることができる。

(開館時間)

第3条 附属図書館の開館時間は、次のとおりとする。

月曜日から金曜日までは、9時から20時まで

土曜日、日曜日及び祝日は、10時30分から17時まで

2 前項の規定にかかわらず、鳴門教育大学学則(昭和59年学則第1号)第20条第1項第4号、第5号、第6号及び第7号に規定する休業日の開館時間は、9時から17時までとする。

3 館長は、必要と認めるときは、前2項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(入館)

第4条 附属図書館を利用しようとする者(以下「利用者」という。)は、職員証、学生証等を携行するとともに、図書館員の求めに応じ、これを提示しなければならない。

(館内閲覧)

第5条 利用者は、附属図書館に所蔵する図書、雑誌その他の資料(以下「資料」という。)を貴重図書等特に指定するものを除き、自由に閲覧することができる。

2 資料は、所定の場所で閲覧し、閲覧後は所定の場所に返却しなければならない。

(貸出)

第6条 資料の貸出は、一般貸出及び特別貸出とする。ただし、児童図書室に備えられるものの貸出については、別に定める。

2 資料の貸出を受けようとする者は、所定の手続をとらなければならない。

3 資料の貸出を受けた者は、貸出期間を厳守し及び当該資料の保管に関し責任を負うものとする。

(一般貸出)

第7条 一般貸出の貸出冊数及び貸出期間は、別表第1のとおりとする。

2 館長が必要と認める場合は、前項に規定する貸出冊数又は貸出期間を臨時に変更することができる。

(貸出期間超過措置)

第8条 前条に規定する貸出期間を超過したときは、超過した

規則・規程 rules

日数に相当する日数の貸出を停止することがある。

(特別貸出)

第9条 本学教員が研究費によつて購入した資料については、本学教員に限り、特別貸出を受けることができる。

2 特別貸出の貸出冊数及び貸出期間は、別表第2のとおりとする。

3 特別貸出を受けた新着雑誌については、講座等の共通の資料室に配置して共同利用を図るとともに、学内外から利用の申出がある場合は、これに応じなければならない。

4 特別貸出を受けた者は、館長が特別貸出資料の点検を行うときは、これに応じなければならない。

5 特別貸出資料は、次の各号に掲げる場合が生じたときは、直ちに返却しなければならない。

本学の教員でなくなつたとき。

館長が必要により返却を求めたとき。

(貸出禁止資料)

第10条 次の各号に掲げる資料については、原則として貸出を受けることができない。ただし、前条に規定する特別貸出については、この限りでない。

参考図書のうち禁帯出の表示をしたもの

視聴覚資料

マイクロ資料

新聞(縮刷版を除く。)

貴重図書及び準貴重図書

その他館長が指定した資料

(貴重図書及び準貴重図書)

第11条 貴重図書及び準貴重図書の指定及び取扱いについては、館長が別に定める。

(館内施設の利用)

第12条 視聴覚室、特別資料室、研究個室、セミナー室及び児童図書室の利用等に関し必要な事項は、館長が別に定める。

(参考調査)

第13条 利用者は、図書館員に図書館及び資料の利用方法について相談し、又は次の各号に掲げる事項について調査を依頼することができる。

事項調査

資料の書誌、所在及び所蔵に関する調査

学術情報に関する調査

(情報検索)

第14条 館内に設置された端末装置により情報検索サービスを受けようとする者は、別に定めるところにより、所定の手続をとらなければならない。

(文献複写)

第15条 附属図書館所蔵の資料を複写しようとする者は、所定の手続をとらなければならない。

(相互利用)

第16条 利用者は、研究教育のため必要がある場合は、附属図書館を通じて、他の機関が所蔵する資料の複写その他の利用を依頼することができる。

2 他の機関から、本学が所蔵する資料の複写その他の利用の依頼があつた場合は、学内の利用に支障のない範囲においてこれに応ずるものとする。

(館内での禁止事項)

第17条 館内においては、次の各号に掲げる事項を禁止する。

飲食

寄付行為及び各種の宣伝

館長の許可のない掲示及び展示

危険物の持込み

騒音の発生等、他の利用者への妨げとなる行為

(補償)

第18条 利用者は、故意又は過失により資料、附属図書館施設等を汚損、損傷若しくは滅失したときは、同一物又はその原状回復に必要な費用を弁償しなければならない。

(細則)

第19条 この規程の実施に関する事項及びその他附属図書館の利用に関し、必要な事項は、館長が別に定める。

附則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成2年2月23日から施行する。

附則

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成4年7月10日から施行し、平成4年5月1日から適用する。

附則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成12年4月5日から施行する。

附則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

別表第1(第7条第1項関係)

区分	単行本又は製本雑誌		未製本雑誌		
	貸出冊数	貸出期間		貸出冊数	貸出期間
単行本		製本雑誌			
本学の教員、名誉教授及び大学院生等	10冊以内	1か月以内	3日以内	3冊以内	次の開館日の12時まで
本学の事務職員及び学部学生等	5冊以内	2週間以内			
館長が適当と認めたる者					

備考 館長が適当と認めたる者への貸出は、単行本のみ(雑誌は含まない。)とする。

貸出期間の期限日が休館日となる場合の貸出期間は、次の開館日までとする。

別表第2(第9条第2項関係)

区分	貸出冊数又は種類数	貸出期間	更新
単行本	300冊以内	1年以内	可能
新着雑誌	貸出を希望するものすべて	1か月以内	不可

備考 単行本には、製本雑誌は含まれない。

新着雑誌の貸出期間については、納入受付日から返却日までの期間とする。

鳴門教育大学附属図書館特別資料室利用要項

(昭和62年4月1日)
附属図書館長裁定

(趣旨)

第1 この要項は、鳴門教育大学附属図書館利用規程(昭和62年規程第14号)第12条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館特別資料室(以下「特別資料室」という。)の利用に関し、必要な事項を定める。

(利用目的)

第2 特別資料室は、研究教育のために、特にこの室内に配置されている資料を利用する必要がある場合に限り、利用することができる。

(利用者)

第3 特別資料室を利用することができる者は、次の各号に掲げる者とする。

鳴門教育大学(以下「本学」という。)の教職員
本学の学生

その他附属図書館長(以下「館長」という。)が適当と認めたる者

(利用時間)

第4 特別資料室を利用できる時間は、附属図書館の開館時から閉館時の30分前までとする。

(利用手続)

第5 特別資料室を利用しようとする者は、別に定める利用申込書を提出し、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

(遵守事項)

第6 特別資料室の利用に際しては、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

室内では喫煙しないこと。

室内では鉛筆以外の筆記具を使用しないこと。

室内の資料を、汚損、破損しないこと。

室内の資料を、図書館員に断りなく室外に持ち出さないこと。

室内の資料を、図書館員に断りなく複写、複製しないこと。

利用を終えた資料は、原状に回復すること。

附 則

この要項は、昭和62年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、昭和63年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成4年7月10日から実施し、平成4年5月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成12年4月5日から実施する。

鳴門教育大学附属図書館一般市民等利用要項

(昭和63年4月1日)
附属図書館長裁定

(趣旨)

第1 この要項は、本学の教育研究に支障のない範囲内で、鳴門教育大学附属図書館(以下「附属図書館」という。)を一般市民等の利用に供するため、必要な事項を定める。

(利用者の範囲)

第2 この要項にいう一般市民等の範囲は、学術にかかわる学習又は研究・調査を目的とする一般市民及び民間機関等に所属する者(以下「利用者」という。)をいう。

(利用対象資料の範囲)

第3 利用者が利用できる資料は、原則として本学蔵書のうち附属図書館に所在する資料とする。

(サービスの範囲)

第4 利用者は、第3に規定する資料の館内閲覧及び館外貸出(貸出禁止資料を除く。)並びに学術にかかわる参考調査のサービスを受けることができる。

2 利用者は、必要に応じて、別に定める鳴門教育大学附属図書館文献複写規程(昭和59年規程第16号)に従って、文献複写のサービスを受けることができる。

(サービスの期間及び時間)

第5 第4に規定するサービスは、鳴門教育大学附属図書館利用規程(昭和62年規程第14号。以下「利用規程」という。)第2条に規定する休館日以外の期間で、同利用規程第3条に規定する時間内に受けることができる。ただし、鳴門教育大学大学院学校教育研究科履修規程(昭和59年規程第2号)第8条に規定する試験及び鳴門教育大学学校教育学部履修規程(昭和61年規程第9号)第8条に規定する定期試験の期間については、この限りでない。

(入館手続)

第6 利用者は、所定の手続を経て、附属図書館長(以下「館長」という。)の許可を受けなければならない。ただし、児童図書室の利用については、この限りでない。

2 継続的利用の必要性が認められる利用者は、一定期間有効な図書館利用証の交付を受けることができる。

(遵守事項等)

第7 利用者は、この要項及び図書館員の指示に従わなければならない。

2 館長は、前項の規定に違反した者に対しては、利用を禁止することができる。

(補償)

第8 利用者は、故意又は過失により資料、附属図書館施設等を汚損、損傷若しくは滅失したときは、同一物又はその原状回復に必要な費用を弁償しなければならない。

(その他の規程の準用)

第9 この要項に定める以外の利用上の事項については、利用規程を準用する。

附 則

この要項は、昭和63年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成12年4月5日から実施する。

鳴門教育大学附属図書館児童図書室運営規程

(平成3年1月9日)
規程第1号

(趣旨)

第1条 この規程は、鳴門教育大学附属図書館規則(昭和59年規則第10号)第4条第2項の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館児童図書室(以下「児童図書室」という。)に関し必要な事項を定める。

(運営)

第2条 児童図書室に、児童図書室長(以下「室長」という。)を置き、室長は、附属図書館長の統括の下に、児童図書室の運営に関する業務を掌理する。

(室長)

第3条 室長は、教授又は助教授のうちから、附属図書館運営委員会の意見を聴いて、附属図書館長が指名する者をもって充てる。

2 室長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(細則)

第4条 この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

その他の規程(本文省略)

鳴門教育大学附属図書館運営委員会規程

(昭和59年4月1日制定 平成9年3月10日改正)

鳴門教育大学附属図書館運営委員会専門委員会要項

(昭和59年6月1日裁定 平成12年4月1日改正)

鳴門教育大学附属図書館文献複写規程

(昭和59年4月1日制定 平成11年4月16日改正)

鳴門教育大学附属図書館文献複写料金徴収猶予実施細則

(平成元年8月30日制定 平成13年2月21日改正)

鳴門教育大学附属図書館視聴覚室利用要項

(昭和62年4月1日裁定 平成12年4月5日改正)

鳴門教育大学附属図書館研究個室・タイプ室利用要項

(昭和62年4月1日裁定)

鳴門教育大学附属図書館セミナー室利用要項

(昭和62年4月1日裁定)

鳴門教育大学附属図書館貴重図書及び準貴重図書の指定及び取扱いに関する要項

(昭和63年4月1日裁定)

鳴門教育大学附属図書館オンライン情報サービス利用要項

(昭和63年7月1日裁定)

鳴門教育大学附属図書館児童図書室利用要項

(昭和62年4月1日)
附属図書館長裁定

(趣旨)

第1 この要項は、鳴門教育大学附属図書館利用規程(昭和62年規程第14号)第12条の規定に基づき、鳴門教育大学附属図書館児童図書室(以下「児童図書室」という。)の利用に関し、必要な事項を定める。

(利用目的)

第2 児童図書室は、次の各号に掲げる目的の場合に利用することができる。

鳴門教育大学(以下「本学」という。)の研究教育

資料の閲覧及び貸出

文化活動への参加

その他附属図書館長(以下「館長」という。)が適当と認められたもの

(利用者)

第3 児童図書室を利用することができる者は、次の各号に掲げる者とする。

本学の教職員

本学の学生

学外者のうち、前条の利用目的により来室する者

その他館長が適当と認められた者

(開室日及び開室時間)

第4 児童図書室の開室日及び開室時間は、次のとおりとする。

ただし、附属図書館の休館日については開室しない。

水曜日、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日 13時から16時まで

2 本学の休業日及び館長が必要と認める場合は、前項に規定する開室日及び開室時間を変更することができる。

(利用者登録)

第5 児童図書室に備えられた資料の貸出を受けようとする者は、別に定めるところにより、あらかじめ登録をしなければならない。

(貸出冊数及び貸出期間)

第6 利用者1人につき貸出冊数は5冊以内とし、貸出期間は2週間以内とする。

(遵守事項)

第7 児童図書室の利用に際しては、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

室内では喫煙しないこと。

室内では静粛を保つこと。

室内の資料を汚損、破損しないこと。

利用を終えた資料は、所定の場所に返却すること。

貸出を受けた資料の保管に留意し、貸出期間を厳守すること。

その他図書館員の指示に従うこと。

附 則

この要項は、昭和62年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成12年4月5日から実施する。

- 人 文 棟
Humanities Hall
- 自 然 棟
Sciences Hall
- 技 術 棟
Technical Service Center
- 健 康 棟
Health Education Hall
- 芸 術 棟
Arts Hall
- 講 義 棟
Lecture Hall
- 附 属 図 書 館
University Library

- 本 部 棟
Administration Hall
- 学 校 教 育 研 究 セ ン タ ー
Research Center for School Education
- 体 育 館
Gymnasium
- 課 外 活 動 共 用 施 設
Club House
- 講 堂
Auditorium
- 大 学 会 館
University Hall
- 学 生 宿 舎
Dormitory
- 非 常 勤 講 師 宿 泊 施 設
Guest House
- 艇 庫
Boathouse

- 設 備 棟
Maintenance Building
- 廃 水、廃 液 処 理 施 設
Sewerage and Waste Water Disposal
- 実 験 圃 場
Experimental Farm
- 情 報 処 理 セ ン タ ー
Information Processing Center
- ② 弓 道 場
Archery Range



鳴門教育大学附属図書館概要 2001

鳴門教育大学創立 20 周年 平成 13 年 9 月発行
 編集・発行 鳴門教育大学附属図書館
 772・8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748
 URL <http://www.lib.naruto-u.ac.jp/>

この冊子は再生紙を使用しています

